

います。

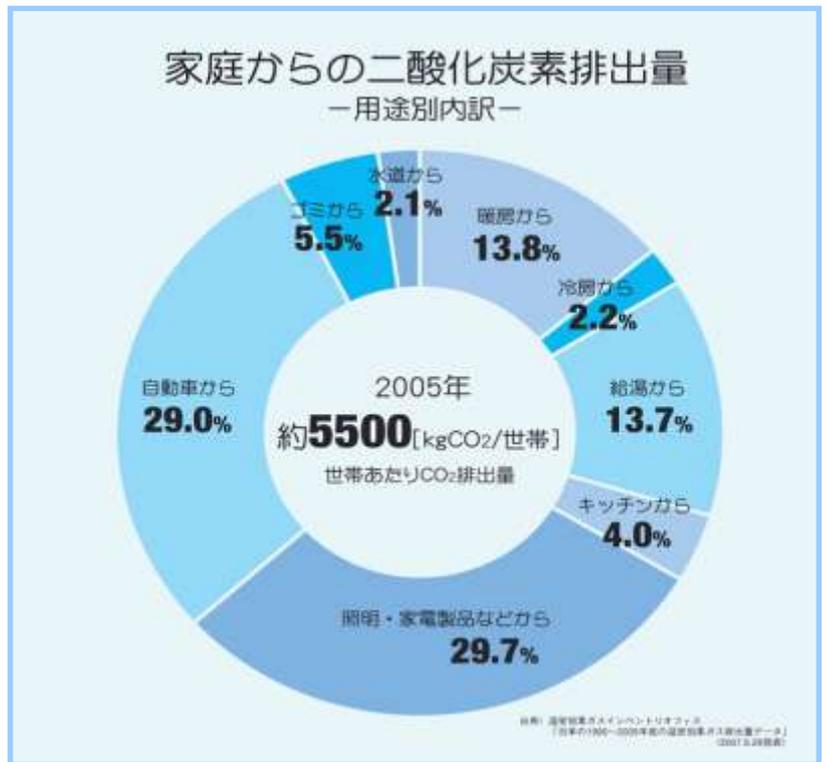
エコライフを！

～地球温暖化防止のために～

写真：奈良市観光協会

地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスは、みなさんの家庭のさまざまなところから出ています。照明・家電製品などといった電気を使うところが一番多く、次に自動車、暖房、給湯の順で多くなっています。

奈良市には、世界遺産をはじめとする歴史的文化遺産や豊かな自然がたくさんあります。これらを守り将来の子どもたちに引き継いでいくため、私たち一人ひとりが身の回りの出来ることから、エコライフを心がけましょう。



出典：温室効果ガスインベントリオフィス
「日本の1990～2005年度の温室効果ガス排出量データ」

奈良市

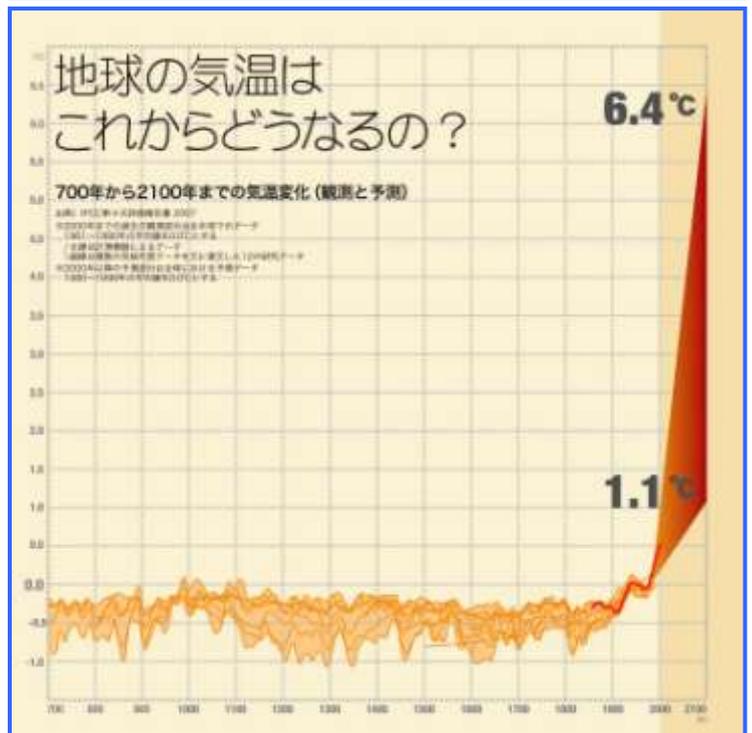
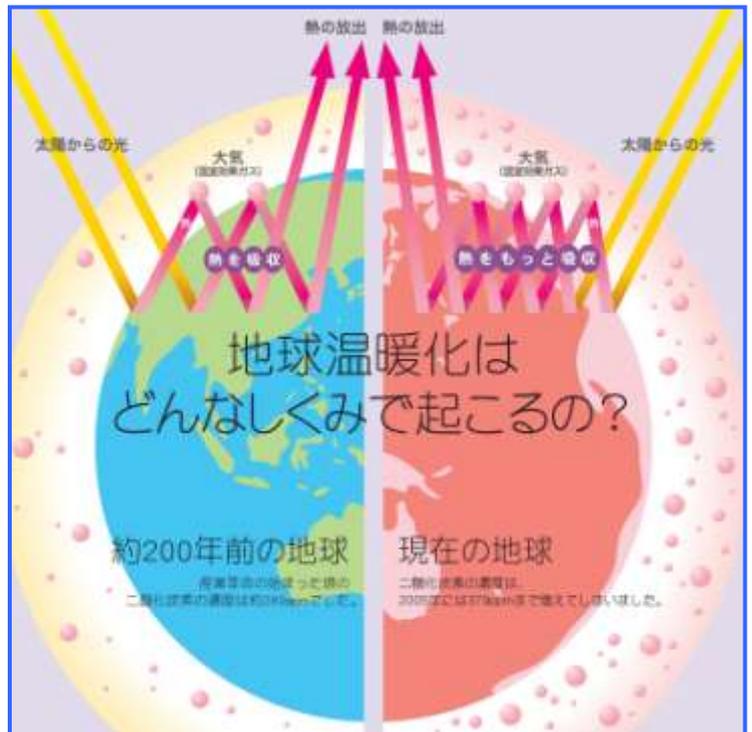
1. 地球温暖化とは

地球は、大気につつまれています。大気中にある二酸化炭素やメタンなどを温室効果ガスといいます。今日まで、この温室効果ガスのおかげで地球の平均気温は約 15°Cに保たれ、生物が



すごしやすい気候・環境をつくってきました。しかし近年、その温室効果ガスが急激に排出され、大気中の温室効果ガス濃度が上昇

したため、地球の平均気温は徐々にそして加速度的に上昇してきています。これを地球温暖化といい、人類がこのままの活動を続けると、地球の平均気温は 2100 年には、最悪の場合 6.4°Cも上昇すると予測されています。

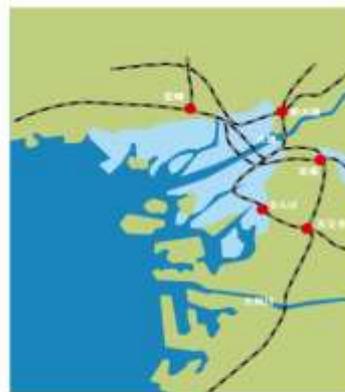


2. 地球温暖化の影響は

地球温暖化は、テレビや新聞で最近特によく報道されていますが、なかなか実感しにくい面があるかもしれません。しかし報道されているように、南太平洋のツバルという島は、地球温暖化による海面上昇で国土が沈むことが危惧されています。わが国でも水没する恐れのある地域が予測されています。また 2100 年には、わが国の夏の日平均気温が 4.2°C上昇するという予測がありますが、例えば、猛暑といわれた年でさえ平均気温が平年より約 1°C高いだけという

ことを考えれば、その影響は動植物の生態系（あるいは農林水産業）への影響、伝染病のまんえん、異常気象の頻発など、あげればきりがなく、また計り知れません。

実際、この100年で地球の平均気温は、長期的に0.74℃上昇し、最近50年間の長期傾向は過去100年のほぼ2倍上昇しています。



京阪神地区

海に近い大阪の中心部は大きな被害を受けます。大阪西北部の海岸線はほぼ水没します。

※※(CASA)環境教育教材「地球温暖化」, 2000

【海面が1m上昇すると都市部が水没する恐れがあります。】

海外から食糧の約60%を輸入している日本は、地球温暖化により世界の穀物生産が減少すると、深刻な食糧難に陥る恐れがあります。



沖縄ではサンゴが白化するなど生態系にも深刻な影響がでます。
写真提供(財)海中公園センター



ブナ林が大きく減少する。



南方で生息する昆虫等が北に移動する。



豪雨が増加する。台風の雨量も増える。



真夏日が大幅に増える。熱波により、熱中症患者が増加し、マラリアが発生する可能性が高まる。



・人口や産業が集中する湾岸域が被害を受ける。
・1mの海面上昇で約90%の砂浜が消失する。

出典:環境省「地球温暖化の日本への影響2001」
国立環境研究所 江守正多「地球温暖化の将来予測と影響評価」

3. 私たちはどうすればいいのか

わが国では、家庭部門の二酸化炭素の排出量が増えています。これは核家族化がすすみ世帯数が増えたことに加え、世帯別の家電保有数が増加・大型化し、その結果電気使用量が増えたことなどが原因です。エコライフといえど何をすればいいのかわかりませんが、私たちの日ごろの生活を見直し、身の回りの出来ることから始めましょう。現在環境省では「チャレンジ25キャンペーン」(<http://www.challenge25.go.jp/>)として、オフィスや家庭などにおいて実践できるCO2削減に向けた具体的な行動を「6つのチャレンジ」「25のアクション」として提案し、その行動の実践を広く国民の皆様によびかけています。

家庭でできる温暖化対策

私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすためにはどうすればいいのでしょうか。
まず、下に挙げた10の取り組みのうち、できるものから始めてみましょう。

1 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する

カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れることにより冷暖房の設定温度を工夫して過ごしましょう。



年間約33kgのCO₂の削減、
年間で約1,800円の節約

6 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす

洗濯や庭の水やりのほか、トイレの水に使っている人もいます。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利です。



年間約7kgのCO₂の削減、
年間で約4,200円の節約

2 週2日往復8kmの車の運転をやめる

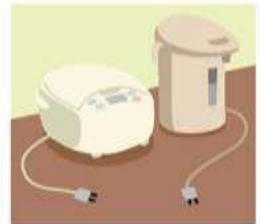
通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。歩いたり自転車を使う方が健康にもいいですよ。



年間約184kgのCO₂の削減、
年間で約9,200円の節約

7 ジャーの保温を止める

ポットやジャーの保温は利用時間が長いと、多くの電気を消費します。ごはんは電子レンジで温めなおす方が電力の消費は少なくなります。



年間約34kgのCO₂の削減、
年間で約1,900円の節約

3 1日5分間のアイドリングストップを行う

駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。



年間約39kgのCO₂の削減、
年間で約1,900円の節約

8 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす

家族が別々の部屋で過ごす時、暖房も照明も余計に必要になります。



年間約238kgのCO₂の削減、
年間で約10,400円の節約

4 待機電力を50%削減する

主電源を切りましょう。長期間使わないときはコンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い換えの際には待機電力の少ない物を選ぶようにしましょう。



年間約60kgのCO₂の削減、
年間で約3,400円の節約

9 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ

トレーやラップは家に帰れば、すぐごみになります。買い物袋を持ち歩けばレジ袋を減らせます。



年間約58kgのCO₂の削減

5 シャワーを1日1分家族全員が減らす

身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。



年間約69kgのCO₂の削減、
年間で約7,100円の節約

10 テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす

見たい番組だけ選んでみるようにしましょう。



年間約14kgのCO₂の削減、
年間で約800円の節約

奈良市 環境政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南1-1-1